

大学生、はじめての金融リテラシー

2022年12月作成

作成：

大和証券株式会社 ライフプランビジネス部



はじめに／金融リテラシーとは？



**金融業界で働く専門的な人材のみに
求められるような高度な知識や能力**



**個々人が日常生活を送るうえで、また、
将来のライフプランを描いていくうえで、
誰にとっても必要なお金の知識や判断力**

出所：幸田博人／川北英隆 [編集]「金融リテラシー入門 [基礎編]」

金融リテラシーの内容

- 生活スキルとして最低限身に付けるべき金融リテラシー



出所：金融庁金融研究センター「金融経済教育研究会報告書」

ご参考／金融リテラシー・マップ

分野	分類	小学生 ^(注2)	中学生	高校生	大学生	若年社会人	一般社会人	高齢者
		社会の中で生きていく力の素地を形成する時期	将来の自立に向けた基本的な力を養う時期	社会人として自立するための基礎的な能力を養う時期	社会人として自立するための能力を確立する時期	生活面・経済面で自立する時期	社会人として自立し、本格的な責任を担う時期	年金収入や金融資産取り崩しが生活費の主な源となる時期
家計管理	家計管理	必要なもの（ニーズ）と欲しいもの（ウォンツ）を区別し、計画を立てて買物ができる	家計の収入・支出について理解を深め、学校活動等を通じて収支管理を実践する	自分のために支払われている費用を知り、家計全体を意識しながらよりよい選択・意思決定ができる	収支管理の必要性を理解し、必要に応じアルバイト等で収支改善をしつつ、自分の能力向上のための支出を計画的に行える	家計の担い手として適切に収支管理をしつつ、趣味や自己の能力向上のための支出を計画的に行える	家計を主として支える立場から家計簿などで収入支出や資産負債を把握管理し、必要に応じ収支の改善、資産負債のバランス改善を行える	リタイア後の収支計画に沿って、収支を管理し、改善のために必要な行動がとれる
生活設計	生活設計	働くことを通してお金を得ることおよび将来を考え金銭を計画的に使うことの大切さを理解し、貯蓄する態度を身に付ける	勤労に関する理解を深めるとともに、生活設計の必要性を理解し、自分の価値観に基づいて生活設計を立ててみる	職業選択と生活設計を関連付けて考え、生涯の収支内容を理解して生活設計を立てる	卒業後の職業との両立を前提に夢や希望をライフプランとして具体的に描き、その実現に向けて勉強、訓練等に励んでいる 人生の3大資金等を念頭に置きながら、現実的な生活の収支イメージを持つ	選択した職業との両立を図る形でライフプランの実現に取り組んでいる ライフプランの実現のためにお金がどの程度必要かを考え、計画的に貯蓄、資産運用を行える	環境変化等を踏まえ、必要に応じライフプランや資金計画、保有資産の見直しを検討しつつ、自分の老後を展望したライフプランの実現に向け着実に取り組んでいる 学校と連携しつつ、家庭内で子の金融教育に取り組む	リタイア後のライフプランについて、余暇の活用、家族や社会への貢献にも配慮した見直しを行っている 年金受取額等をベースとした生活スタイルに切り替え、心豊かに安定的な生活を過ごせるよう、堅実に取り組んでいる
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	金融取引の基本としての素養	小学生が巻き込まれる金融トラブルの実態について知り、消費生活に関する情報を活用して比較・選択する力を身に付ける	契約の基本を理解し、悪質商法等を見分け、被害に遭わないようにする	契約および契約に伴う責任に関する理解を深めるとともに、自ら情報を収集し消費生活に活用できる技能を身に付ける	収集した情報を比較検討し、適切な消費行動をすることができる 金融商品を含む様々な販売・勧誘行為に適用される法令や制度を理解し、慎重な契約締結など、適切な対応を行うことができる 詐欺など悪質な者に狙われないよう慎重な契約を心掛ける	資産管理面で高齢者が必要とする基本的な知識を習得し、必要に応じて専門家に相談することができる		
	金融分野共通	暮らしを通じてお金の様々な働きを理解する	お金や金融・経済の基本的な役割を理解する	お金や金融・経済の機能・役割を把握するとともに、預金、株式、保険など基本的な金融商品の内容を理解する	金融商品の3つの特性（流動性・安全性・収益性）とリスク管理の方法、および長期的な視点から貯蓄・運用することの大切さを理解する お金の価値と時間との関係について理解する（複利、割引現在価値など） 景気の動向、金利の動き、インフレ・デフレ、為替の動きが、金融商品の価格、実質価値、金利（利回り）等に及ぼす影響について理解している			

出所：金融経済教育推進会議「金融リテラシー・マップ」（2015年6月改訂版）

ご参考／金融リテラシー・マップ

分野	分類	小学生	中学生	高校生	大学生	若年社会人	一般社会人	高齢者
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	保険商品	事故や疾病等が生活に大きな影響を与えることを理解し、自らも安全に行動する不測の事態に備える方法として貯蓄以外に保険があることを理解する	リスクを予測して行動するとともに、人を負傷させたり、人の物を壊した場合には弁償しなければならないことを理解する 事故や病気のリスクや負担を軽減させる手段のひとつに保険があることを理解する	リスクを予測・制御して行動するとともに、加害事故を起こした場合には責任や補償問題が生じることを理解する 社会保険と民間保険の補完関係を理解する	自分自身が備えるべきリスクの種類や内容を理解し、それに応じた対応（リスク削減、保険加入等）を行うことができる 自動車事故を起こした場合、自賠責保険では賅えないことがあることを理解している	備えるべきリスクと必要な金額をカバーするために適切な保険商品を検討、選択し、家族構成や収入等の変化に応じた見直しを行うことができる		高齢期における保険加入の必要性・有効性や保険の種類を理解している
	ローン・クレジット	子ども同士でお金の貸し借りはしないようにする	ローン等の仕組みや留意点について理解する	貸与型の奨学金などローンの仕組みを理解し、返済方法や金利、延滞時の影響について考える 各種カードの機能や使用上の留意点を理解し、適切に行動する態度を身に付ける	奨学金を借りている場合、返済を延滞した場合の影響等を理解するとともに、自力で返済する意思をもち、返済計画を立てることができる ローンやクレジットは資金を費消してしまいやすいことに留意する クレジットカードの分割払いやリボルビング払いには手数料（金利）負担が生じる点に留意する ローンやクレジットの返済を適切に履行しない場合には、信用情報機関に記録が残る、他の金融機関等からも借入等が難しくなることを理解する	住宅ニーズを考慮したライフプランを描いている 現在とリタイア後の住宅ニーズを考慮したライフプランを着実に実行しつつある	住宅ローンの基本的な特徴を理解し、必要に応じ具体的な知識を習得し返済能力に応じた借入を組むことができる	リタイア後の生活の安定のために、必要に応じて負債と資産のバランスを見直せる
	資産形成商品	金利計算（単利）などを通じて、主な預金商品とその利息の違いについて理解する	リスクとリターンの関係について理解する 金利計算（複利）を理解し、継続して貯蓄・運用に取り組む態度を身に付ける	基本的な金融商品の特徴とリスク・リターンの関係について理解し、自己責任で金融商品を選択する必要があることを理解する リスク管理の方法や定期的に貯蓄・運用し続けることの大切さを理解する	自らの生活設計の中で、どのように資産形成をしていくかを考えている 様々な金融商品のリスクとリターンを理解し、自己責任の下で貯蓄・運用することができる 分散投資によりリスク軽減が図れることを理解している 長期運用には「時間分散」の効果があることを理解している	リスクとリターンの関係を踏まえ、求めるリターンと許容できるリスクを把握している 分散投資・長期投資のメリットを理解し、活用している	分散投資を行っていても、定期的に投資対象（投資する国や商品）の見直しが必要であることを理解している	自ら理解できない商品への投資はしない ノーリスク・ハイリターンをうたう金融商品に疑いをもつことができる 年齢やライフスタイルなどを踏まえ、投資対象の配分比率を見直す必要があることを理解している
外部の知見の適切な活用	外部の知見の適切な活用	困ったときにはすぐに身近な人に相談する態度を身に付ける	トラブルに遭ったときの相談窓口、必要に応じて連絡する方法を身に付ける	トラブルに対処できる具体的な方法を学び、実際に行使できる技能を身に付ける	金融商品を利用する際に相談等ができる適切な機関等を把握する必要があることを認識している 金融商品を利用するに当たり、外部の知見を適切に活用する必要があることを理解している 金融商品の利用の是非を自ら判断するうえで必要となる情報の内容や、相談しアドバイスを求められる適切で中立的な機関・専門家等を把握し、的確に行動できる			

出所：金融経済教育推進会議「金融リテラシー・マップ」（2015年6月改訂版）

本日、お伝えしたい金融リテラシー

1

お金と時間の関係

2

お金を育てる、殖やし方

3

お金を守る、リスクとのつきあい方

1. お金と時間の関係

金利とは？

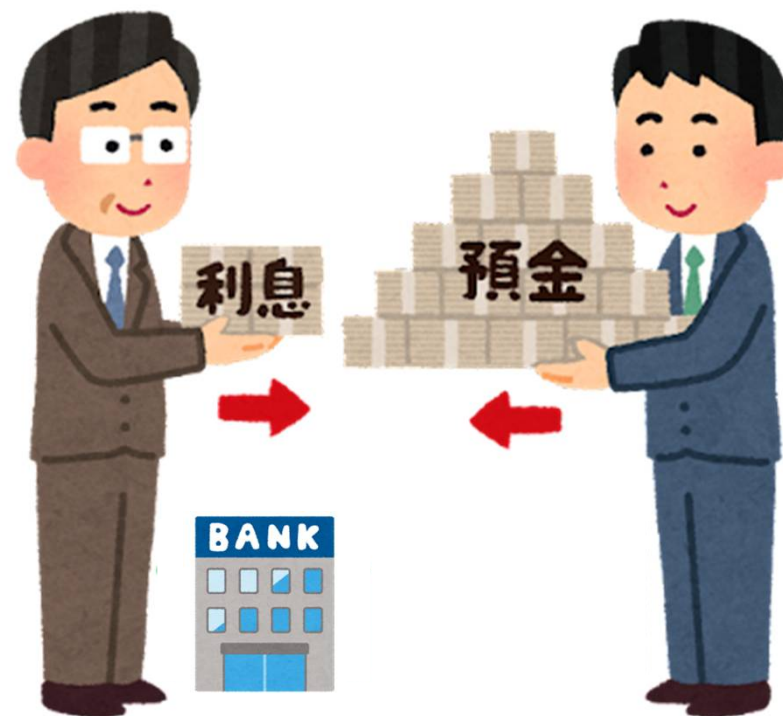
- お金を借りる側が貸す側に払う、「お金のレンタル料」のようなもの

貸す側

借りる側

借りる側

貸す側



単利とは？

- 今、金利5%の10年定期預金があるとします。ここに100万円を預けることにしました。
- 毎年金利5%分を現金で受け取る場合、10年で元利合計は？

	期首元本	期末元本 + 利息※
1年目	100万円	$100万円 \times (1 + 5\%) = 105万円$ → 現金5万円を受け取る
2年目	100万円	$100万円 \times (1 + 5\%) = 105万円$ → 現金5万円を受け取る
3年目	100万円	$100万円 \times (1 + 5\%) = 105万円$ → 現金5万円を受け取る
⋮		
10年目	100万円	$100万円 \times (1 + 5\%) = 105万円$ → 現金5万円を受け取る
合計	元本100万円	+ 利息合計50万円 = 150万円

※ 税金は考慮せず

複利とは？

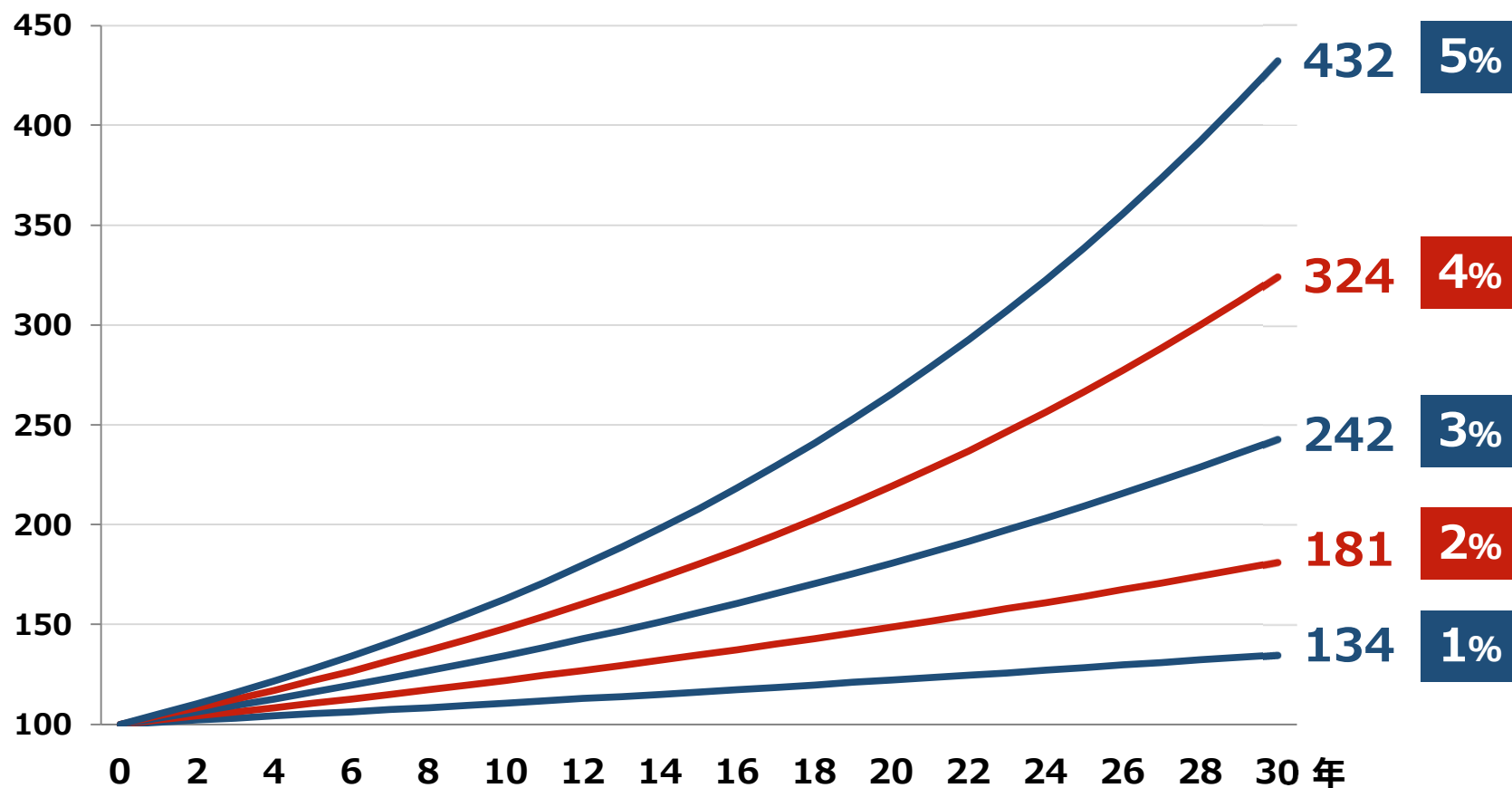
- 先ほどと同じ定期預金に、100万円を預けることにしました。
- 毎年の金利5%分を元本に組み入れて継続した場合、10年で元利合計は？

	期首元本	期末元本 + 利息※
1年目	100万円	$100万円 \times (1 + 5\%) = 105万円$ → 利息も期首元本へ
2年目	105万円	$105万円 \times (1 + 5\%) = 110.2万円$ → 利息も期首元本へ
3年目	110.2万円	$110.2万円 \times (1 + 5\%) = 115.7万円$ → 利息も期首元本へ
⋮		
9年目	147.7万円	$147.7万円 \times (1 + 5\%) = 155.1万円$ → 利息も期首元本へ
10年目	155.1万円	$155.1万円 \times (1 + 5\%) = 162.8万円$

※ 税金は考慮せず

複利の魅力／お金は加速度的に成長する

- 一定期間、一定の利率で、元本100を複利運用したとき



複利の魅力／アインシュタインの言葉

- 人類の歴史上最高の物理学者と評される彼も・・・



人類最大の発見は、
複利である

複利の怖さ／まずはクイズを一つ!?

- 10万円の借入れがあり、借入金利は複利で年率18%です。返済しないとこの金利では、何年で残高は倍になるでしょうか。

1. 2年未満
2. 2年以上5年未満
3. 5年以上10年未満
4. 10年以上

出所：金融広報中央委員会
「金融リテラシー調査 2019年」（年率を20%から18%に変更）



「72の法則」が教えてくれることは？

元本が2倍になる金利と年数の関係

$$72 \div \text{金利} (\%) \doteq \text{年数} (\text{年})$$

- お金の増え方の感覚を身につける
うえで役に立つ算式
- 金利は複利（利子にも利子がつくこと）



消費者金融の金利は18%が中心

消費者金融とは？

- たとえば、「生活費が足りない」、「旅行に行きたい」など、小口・短期・緊急の資金ニーズに無担保でお金を貸してくれる
- その分、金利はお高め
- 10万円以上100万円未満だと、金利は18%が多い

出所：金融広報中央委員会「大学生のための人生とお金の知恵」



クレジットカードを使うときの注意点は？

クレジットカードとは？

- クレジットカードを使うことは、お金を借りることと同じ
- 使い方は、ショッピングとキャッシング
- 手数料（金利）を確認しましょう



1～2回	6～15回	18～36回	リボ払い	キャッシング
なし	11～15%	12～15%	12～15%	15～18%

出所：金融経済教育推進会議「金融リテラシーとライフデザイン～人生、お金、金融知識」

ここまでで学んだ大事なこと／複利の法則

1

金利はお金のレンタル料

2

お金は加速度的に成長する

3

複利は魅力、でも怖さもある

4

お金を借りるときの注意点、忘れずに

2. お金を育てる、殖やし方

リスクとリターンの法則

- お金の世界には、必ず儲かる話などありません。なぜなら、お金の世界には、「**リスクとリターンの法則**」が働いているからです。

リスクとリターンの法則



リターンを得るには、
リスクをとらなければならない



リスクをとれば、
リターンを得ることができる

まずはリスクの定義から

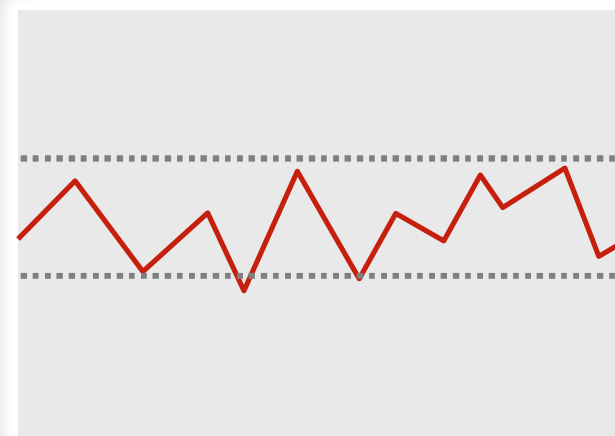
- お金の世界では、リスクを「**(収益の) 変動性**」と定義しています。
簡単に言えば、リスクとは「**(儲けの) ブレ幅**」のことになります。

ハイリスク



価格変動のブレ幅が**大きい**

ローリスク



価格変動のブレ幅が**小さい**

ところで、ノーリスクとは？

- ふだんの生活とお金の世界では、ノーリスクの意味が違います。
お金の世界では、「必ず儲かる」、「絶対損しない」は存在しません。

ふだんの生活

- リスクといえば、危険なもの、
損するもの、
避けるべきもの

→ ノーリスク = 安全



お金の世界

- リスクとは、
(儲けの) ブレ幅
- ノーリスクとは、
ブレ幅がない、
儲けの可能性がない、
つまり、ノーリターン

→ ノーリスク ≠ 安全



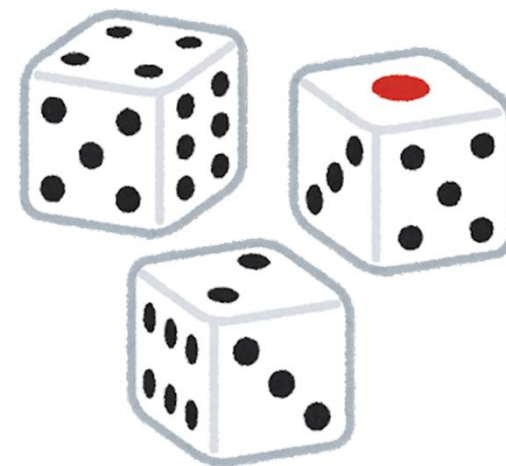
つぎに、リターンを「正しく」理解する

- お金の世界のリターンとは、「どれくらいの儲けが得られそうか」という見込みのこと。専門的には「**期待収益（率）**」と呼びます。単に得られる金額だけでなく、その確率まで考える、ということです。
- 中学・高校の数学で学んだ「**確率**」「**期待値**」の考え方と似ています

Q サイコロを振り、「目の数×100円」がもらえるとき、1回投げてもらえる期待値（見込み）はいくらか？

A $100円 \times \frac{1}{6} + 200円 \times \frac{1}{6} + 300円 \times \frac{1}{6} + 400円 \times \frac{1}{6} + 500円 \times \frac{1}{6} + 600円 \times \frac{1}{6}$
 $= \underline{350円}$

よって、期待値は350円



出所：佐伯良隆「知っておきたいホントに大事なお金の話」

リターン、つまり、期待収益はいくら？

- あなたの100万円が
 - ① 半々の確率で、150万円か50万円になる
 - ② 半々の確率で、110万円か90万円になる

この話、あなたなら乗りますか？

乗るとしたら、どちらを選びますか？

- ①は「ハイリスク・ハイリターン」、
- ②は「ローリスク・ローリターン」と

言えるでしょうか？

期待収益を計算してみてください

出所：佐伯良隆「知っておきたいホントに大事なお金の話」



リスクとリターンの法則からすると…

- 得られる金額の大小だけでなく、確率を掛け合わせ期待値を出し、いくらもらえる見込みがあるかを計算してみると…

選択肢①の期待収益

$$\begin{aligned} A & +50\text{万円} \times 1/2 + \\ & \blacktriangle 50\text{万円} \times 1/2 \\ & = \text{ゼロ} \end{aligned}$$

儲けのブレ幅 = 100万円



ハイリスク・**ノーリターン**

選択肢②の期待収益

$$\begin{aligned} A & +10\text{万円} \times 1/2 + \\ & \blacktriangle 10\text{万円} \times 1/2 \\ & = \text{ゼロ} \end{aligned}$$

儲けのブレ幅 = 20万円



ローリスク・**ノーリターン**



もう一つ、期待収益を計算してみましょう!

- あなたの100万円が
 - ③ 半々の確率で、180万円か60万円になる
 - ④ 半々の確率で、120万円か90万円になる

この話、あなたなら乗りますか?

乗るとしたら、どちらを選びますか?

③は「ハイリスク・ハイリターン」、

④は「ローリスク・ローリターン」と

言えるでしょうか?

期待収益を計算してみてください

出所：佐伯良隆「知っておきたいホントに大事なお金の話」



リスクとリターンの法則からすると…

選択肢③の期待収益

$$\begin{aligned} A & +80\text{万円} \times 1/2 + \\ & \blacktriangle 40\text{万円} \times 1/2 \\ & = +20\text{万円} \end{aligned}$$

儲けのブレ幅 = 120万円 ← 4倍

選択肢④の期待収益

$$\begin{aligned} A & +20\text{万円} \times 1/2 + \\ & \blacktriangle 10\text{万円} \times 1/2 \\ & = +5\text{万円} \end{aligned}$$

儲けのブレ幅 = 30万円

ハイリスク・ハイリターン

ローリスク・ローリターン

リスクとリターンの法則に見合っている

ところで、投資とギャンブルの違いは？

- 「投資なんてギャンブル!」、そんなふうに思っている人もいるかもしれません。例えば、株と宝くじ、どちらがギャンブルに近いでしょう？

株

- 株価が上がるか下がるかは、会社の業績や景気など、株価に影響する要素がある
- 株は**リスクとリターンの法則**が当てはまる「投資」

宝くじ

- 宝くじが当たるかどうかは、まったくの偶然
- 当たれば数億、外れればゼロ
- 宝くじは**リスクとリターンの法則**が当てはまる「投資」なのか？

出所：佐伯良隆「知っておきたいホントに大事なお金の話」

投資の観点から宝くじを見ると…

● ある年のサマージャンボ宝くじの期待収益

	当選金	当選確率	期待収益
1等賞	2億円	1,000万分の1	20円
前後賞	5,000万円	500万分の1	10円
2等賞	1億円	1,000万分の3	30円
3等賞	500万円	100万分の1	5円
4等賞	1万円	1,000分の1	10円
5等賞	3,000円	100分の1	30円
6等賞	300円	10分の1	30円

期待収益計	135円
宝くじ1枚の値段	300円
最終期待収益	▲165円
期待収益率	▲55%

出所：佐伯良隆
「知っておきたい
ホントに大事な
お金の話」



ここまでで学んだ大事なこと／リスクとリターン

1

リスクをとらなければリターンは得られない

2

リスクはブレ幅、リターンの源泉

3

リターンは儲けが得られるかの見込み

4

ギャンブルは期待収益がマイナス

金融商品とは？

- お金を育てる、殖やすための手段が金融商品です。
その代表的な手段について、それぞれの特徴を確認しましょう。

預金 貯金

- 銀行等にお金を預けること

債券

- 発行者が借りるお金
- 発行者は、お金を返す必要あり
- 国が発行するものを国債、
会社が発行するものを社債

株式

- 株式会社の事業の元となる
お金
- 会社は、お金を返さなくても
よいが配当する
- 会社の価値によって、株式の
価値（株価）も変動する

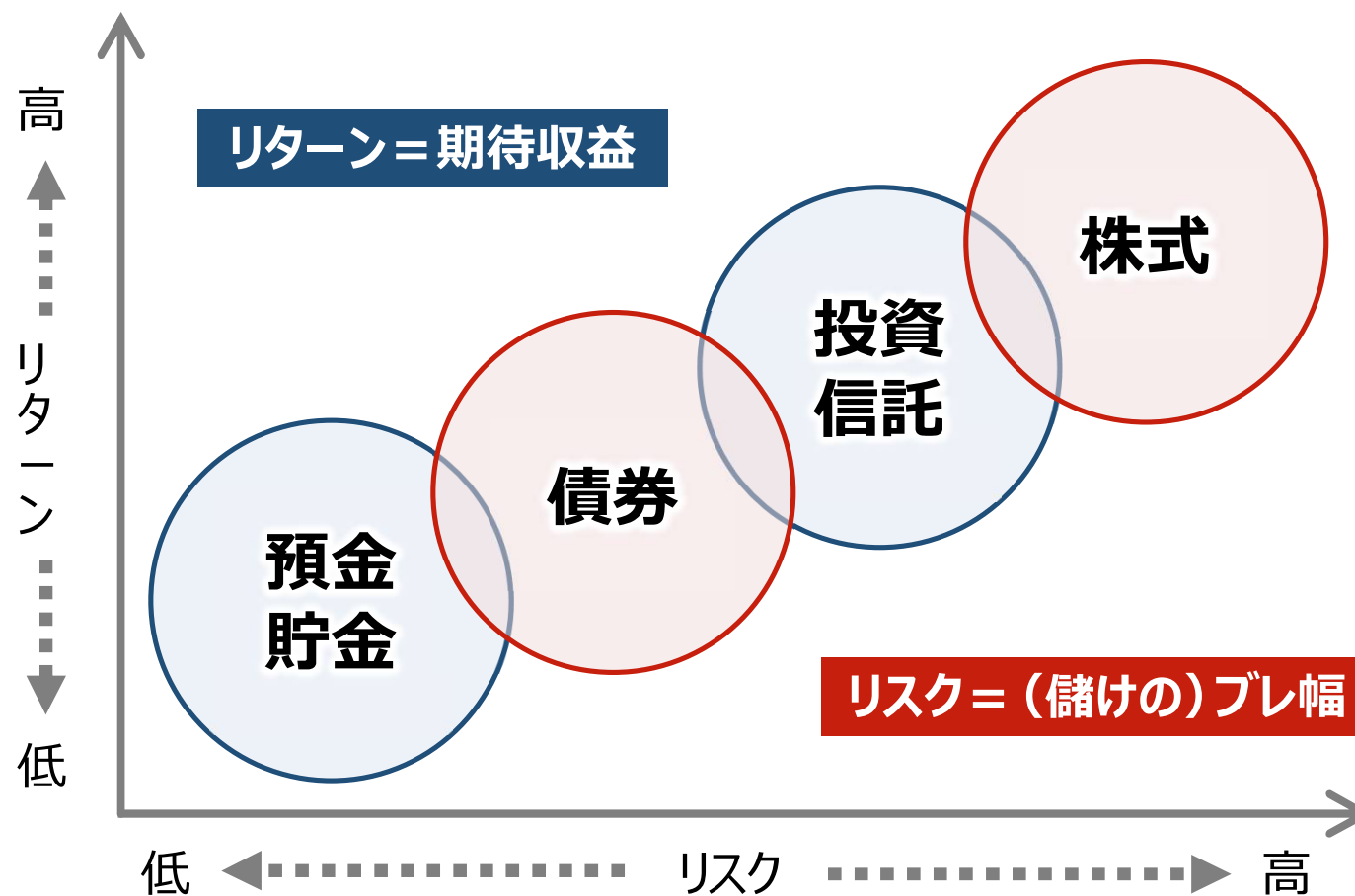
投資 信託

- 多くの人から集めたお金を、
1つにまとめて大きな資金にし
株式や債券などに投資する
仕組み
- 価格が日々変動する

出所：金融経済教育推進会議「金融リテラシーとライフデザイン～人生、お金、金融知識」

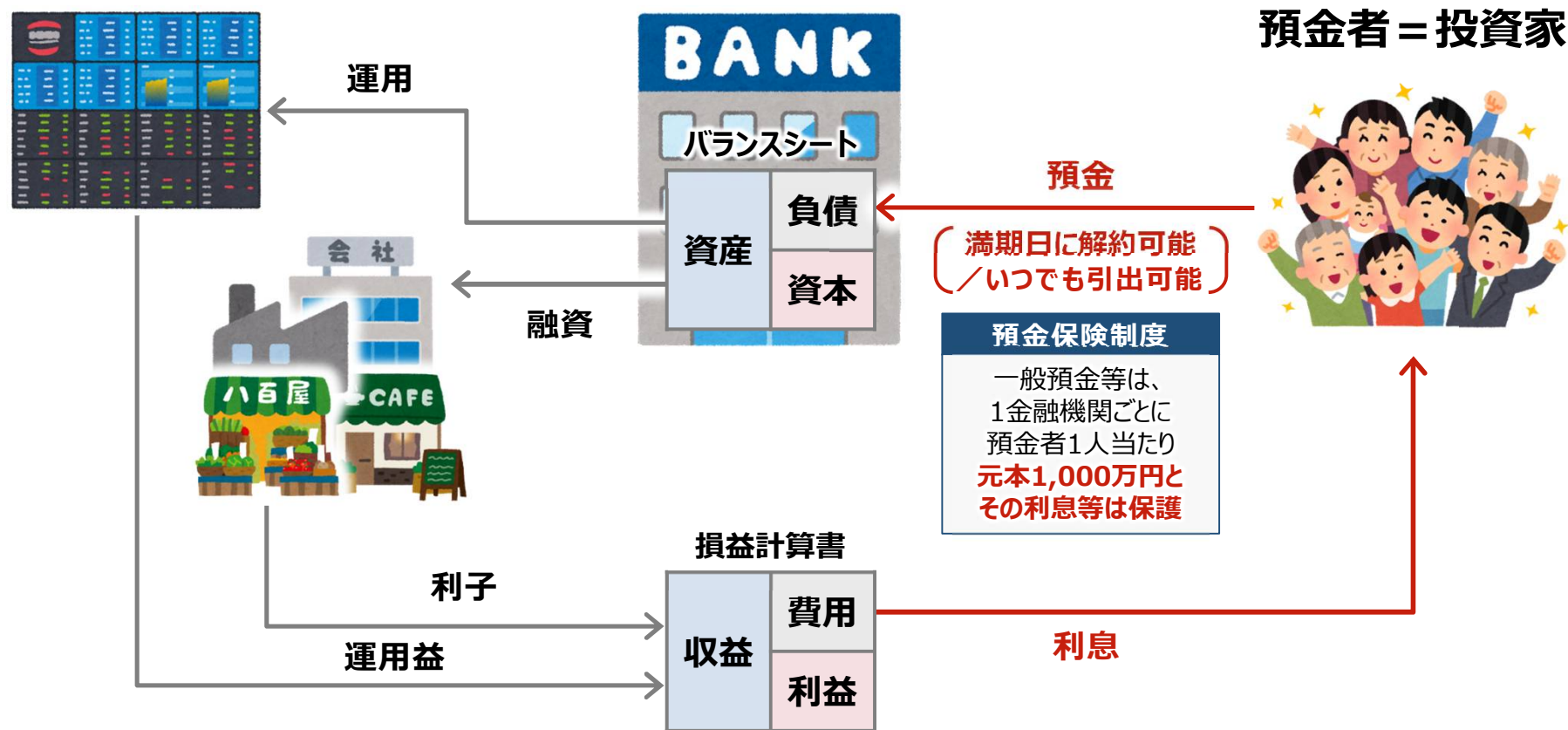
お金の殖やし方をシンプルに考える方法

- 金融商品はさまざまありますが、シンプルに考えることが大切。重要な視点は、**リスクとリターンの法則**に着目することです。



預金取引のしくみ

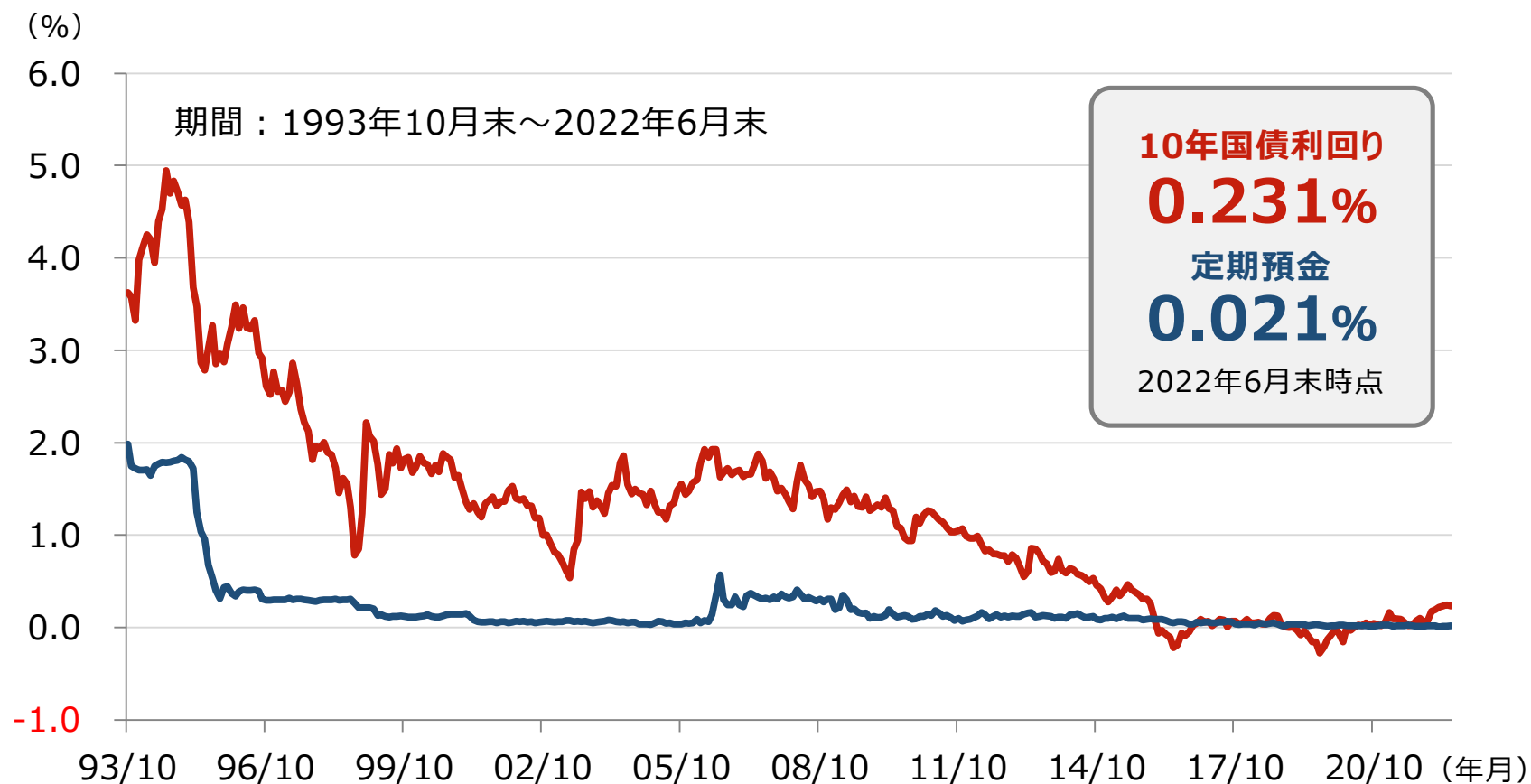
- 預金とは、預金者が銀行にお金を貸している、ということ。つまり、我々からすれば、預金も「投資」の一つです。



※ あくまでイメージであり、厳密な表現ではない部分もあります。

預金はローリスク・ローリターン

● 10年国債利回りと定期預金金利の推移

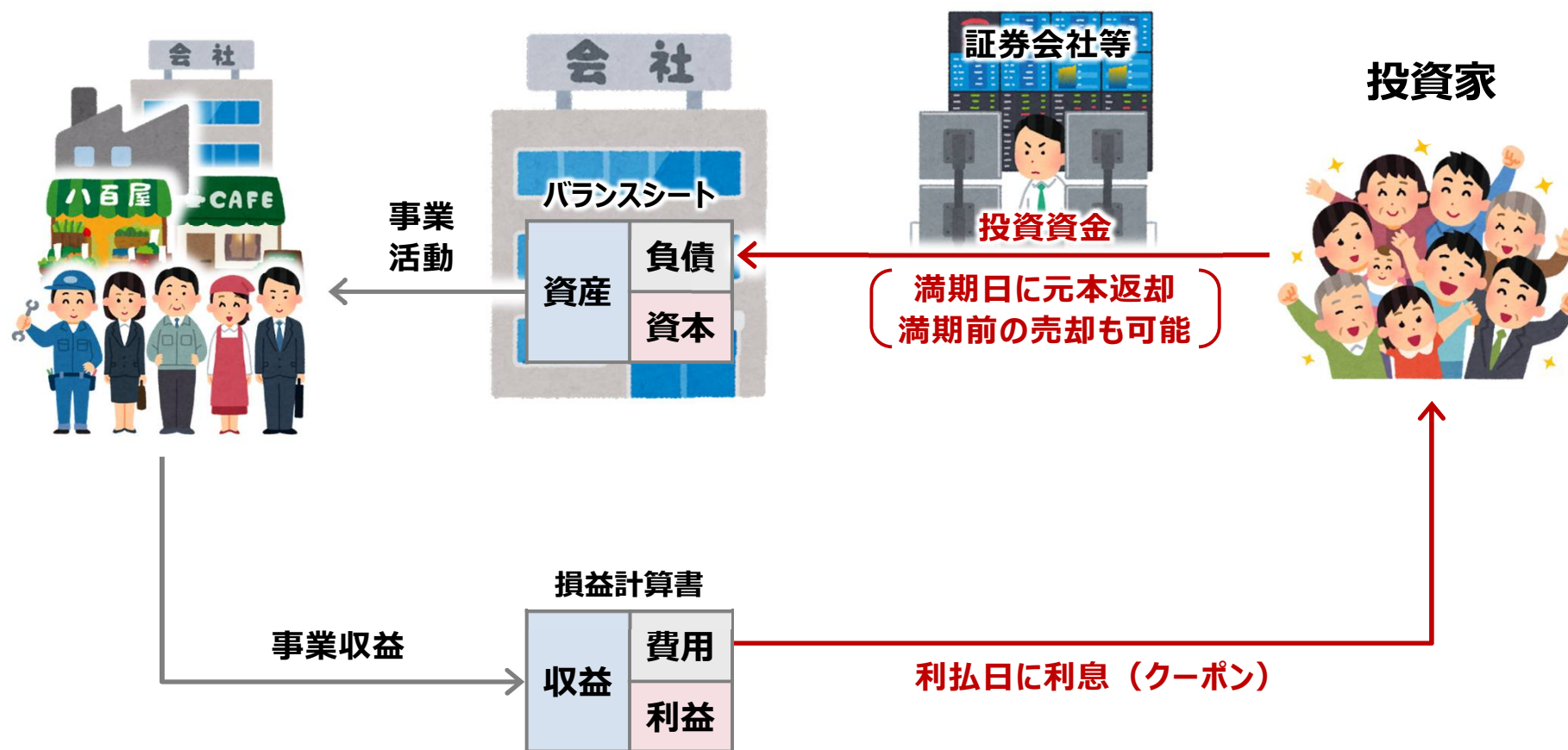


10年国債利回り データ出所：Bloomberg

定期預金金利 データ出所：日本銀行HP 定期預金の預入期間別金利（新規受入分）預入期間6ヵ月以上1年未満／預入金額3百万円以上1千万円未満

債券取引のしくみ

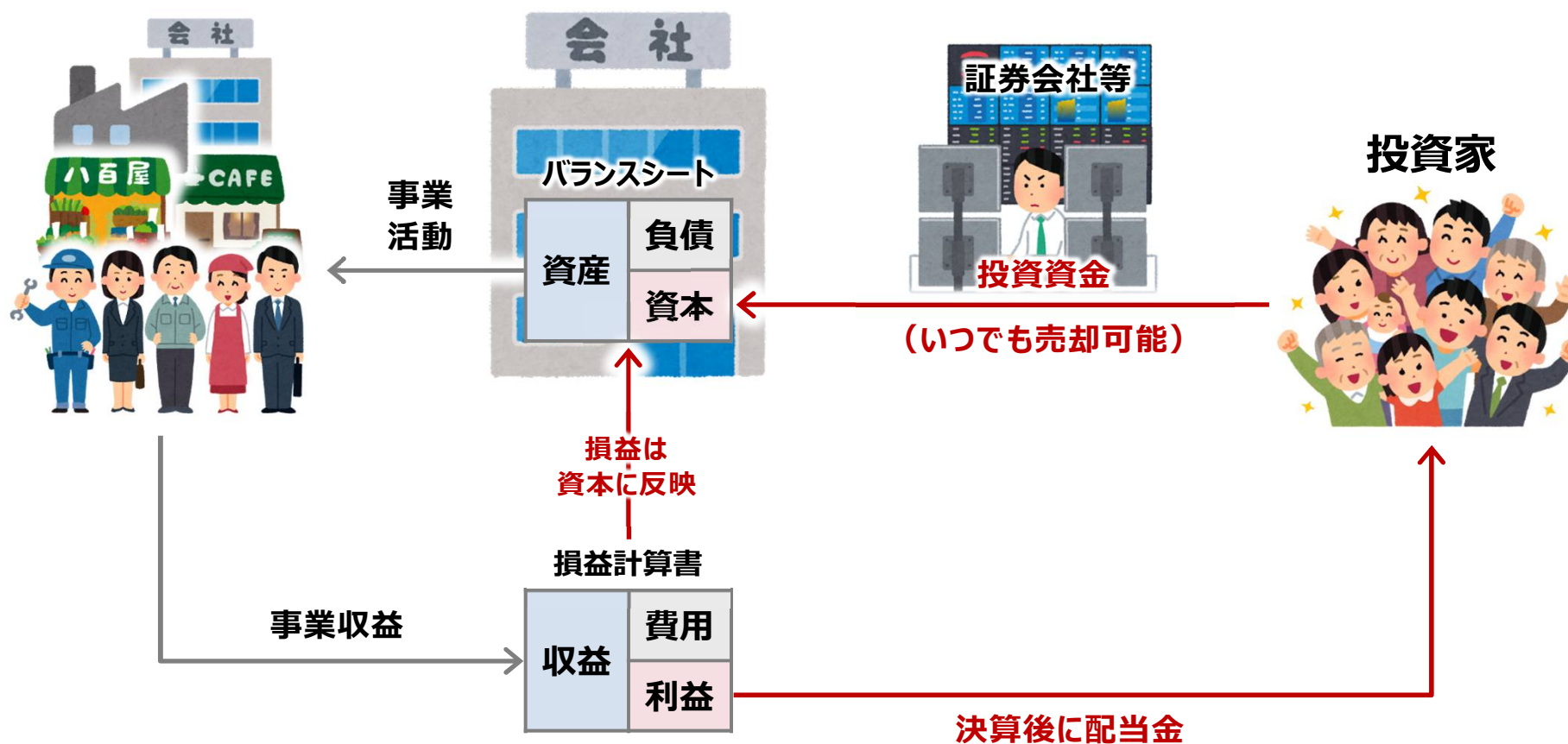
- 債券とは、投資家が**企業（や国、地公体等）**にお金を貸している、ということ。**負債を保有する**という意味では、預金と同じです。



※ あくまでイメージであり、厳密な表現ではない部分もあります。

株式取引のしくみ

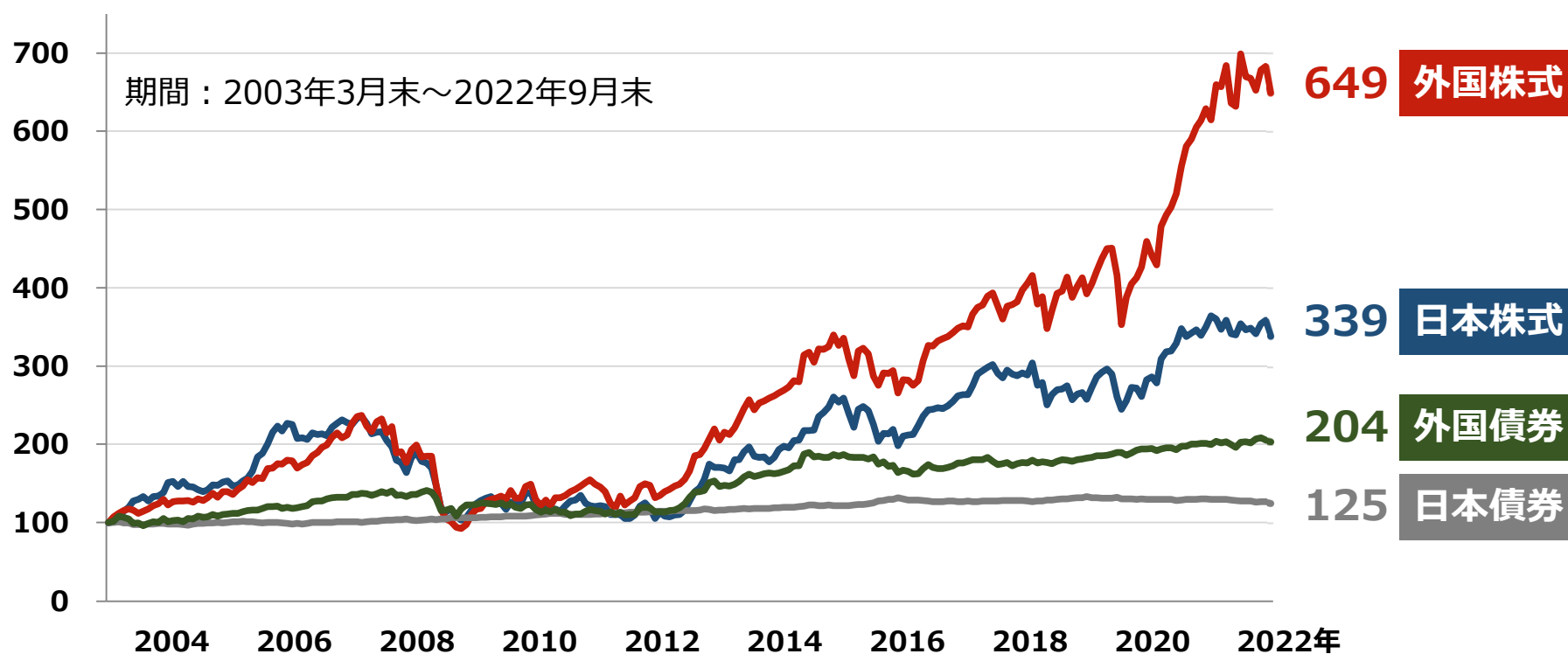
- 株式とは、投資家が企業の**資本を保有すること**。つまり、会社のオーナー、所有者として企業の成長を応援する、ということです。



※ あくまでイメージであり、厳密な表現ではない部分もあります。

債券と株式の値動きの違い

- 2003年4月、外国株式、国内株式、外国債券、国内債券にそれぞれ100を投資した場合のシミュレーション結果※



※ 外国株式はMSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）、日本株式はTOPIX（配当込み）、外国債券はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、日本債券はNOMURA-BPIを用いて算出

債券と株式の違い

- **債券はリスクを抑えて手堅く運用する手段。**一方、投資の代名詞である株式は「**ハイリスク・ハイリターン**」と言えます。

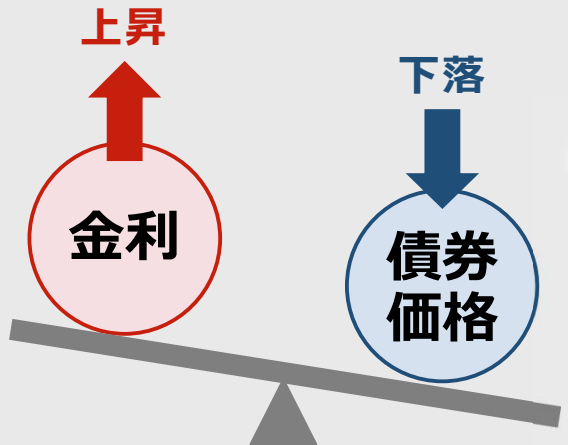
	債券	株式
投資の意味	企業の 負債 を保有する	企業の 資本 を保有する
損益	決められた条件で支払われる 利息を定期的に受け取る	株式の値上がり益／値下がり損 + 業績に応じた配当
業績が好調な場合	定期的に利息を受け取る	株式の値上がり益 + 配当金増加
業績が不調な場合	+ 元本の返済	株式の値下がり損 + 配当金減少
元本確保	(発行体が債務不履行しない限り) 元本は満期に全額返済 満期前だと売却時の価格による	売却時の株価による
企業が倒産した場合	倒産企業の資産に対して、 優先的請求権を持つ	株式は価値がなくなり、 元本を100%失う可能性
リスクとリターン	ローリスク・ローリターン (国債) ミドルリスク・ミドルリターン (社債)	ハイリスク・ハイリターン

※ 上記は一般的な見解であり、個別の商品によって異なる場合があります

ご参考 / 債券と金利の関係

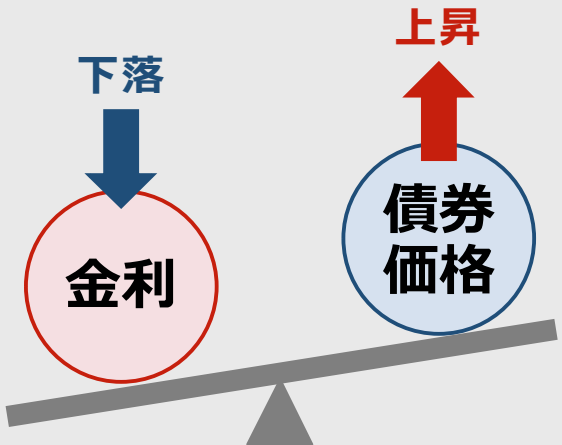
- 決まった利息を受け取る債券にとって最大のリスクは、世の中の金利が上がること。金利が上昇すると債券の価格は低下します。なぜでしょう？

金利が上がると…



債券の利率より**金利が高くなると**、
債券の魅力が低下し、
債券の**価格が低下**します

金利が下がると…



債券の利率より**金利が低くなると**、
債券の魅力が増し、
債券の**価格が上昇**します

ご参考 / 株式は元本を失う可能性があると言いますが…

- 逆に言えば、出資者が被る不利益は、自分が手にした株券が紙くずになるだけで済む、ということ。そもそも、**投資への安全対策として考え出された形態が株式会社**なのです。

Q 世の中に「株式会社」が多いのはどうして?



A 危険は小さく、もうけは大きいしくみだから

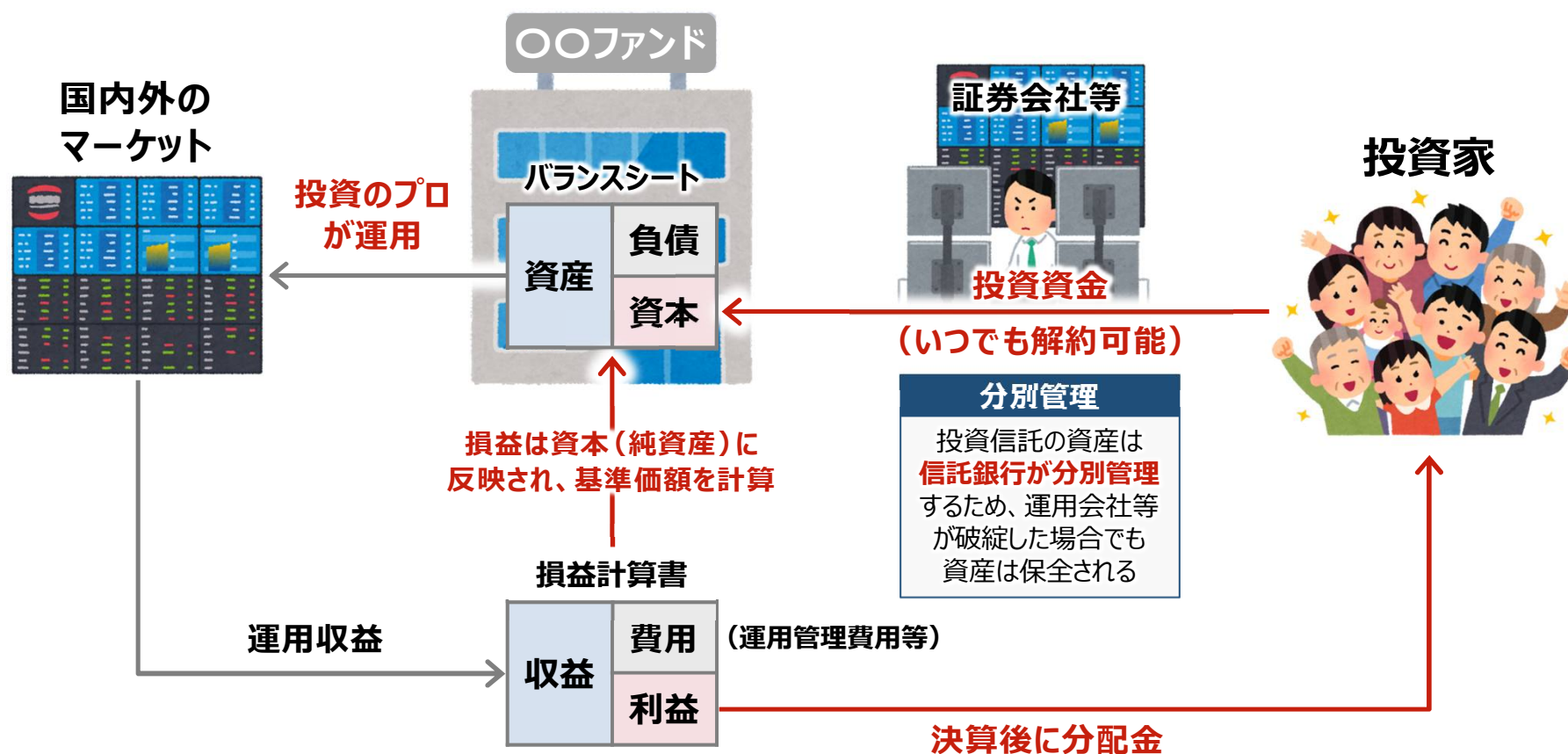
- この株式会社のしくみがとてもいいのは、みんなが少しずつお金を出し合っているので、もし会社の経営がうまくいかず倒産することになっても、**損をするのは最初にみんながそれぞれ出した少しのお金だけで済む**ということです。
- もう1つ大切なことは、**たくさんのお金が出し合えば、それだけ多くのお金が集まる**ということです。こうして株式会社のおかげで、世の中は大きく発展してきました。



出所：池上彰「池上彰のはじめてのお金の教科書」

投資信託のしくみ

- 投資信託とは、株式や債券等の売買や投資判断を「**投資のプロに信じて託す**」ための金融商品です。略して、**投信**とも言います。



※ あくまでイメージであり、厳密な表現ではない部分もあります。

投資信託の種類

- 投資信託は「ファンド」とか「投信」と呼ばれます。その種類としては、まず**インデックスファンド**と**アクティブファンド**の2つを押さえましょう。

インデックスファンド

東証株価指数（TOPIX）等のマーケットの動きを代表する指数（インデックス）に連動する運用成果を目指すファンドのこと

アクティブファンド

マーケットの動きを上回る運用成果を目指し、独自に予測や手法を駆使して運用するファンドのこと



インデックスファンド vs アクティブファンド

● 投資先（組入上位5銘柄）の比較

日本株式に投資するインデックスファンド※		
組入上位5銘柄		構成比
1	トヨタ自動車	3.30%
2	三菱UFJフィナンシャルG	2.13%
3	ソフトバンクグループ	1.63%
4	日本電信電話	1.60%
5	ソニー	1.34%

日本株式に投資するアクティブファンド※		
組入上位5銘柄		構成比
1	ミスミグループ本社	5.24%
2	マキタ	3.60%
3	キーエンス	3.26%
4	三浦工業	3.00%
5	ソフトバンクグループ	2.71%



外国株式に投資するインデックスファンド※		
組入上位5銘柄		構成比
1	アップル	2.38%
2	マイクロソフト	1.65%
3	アマゾン・ドットコム	1.27%
4	メタ	1.12%
5	ジョンソン&ジョンソン	1.01%

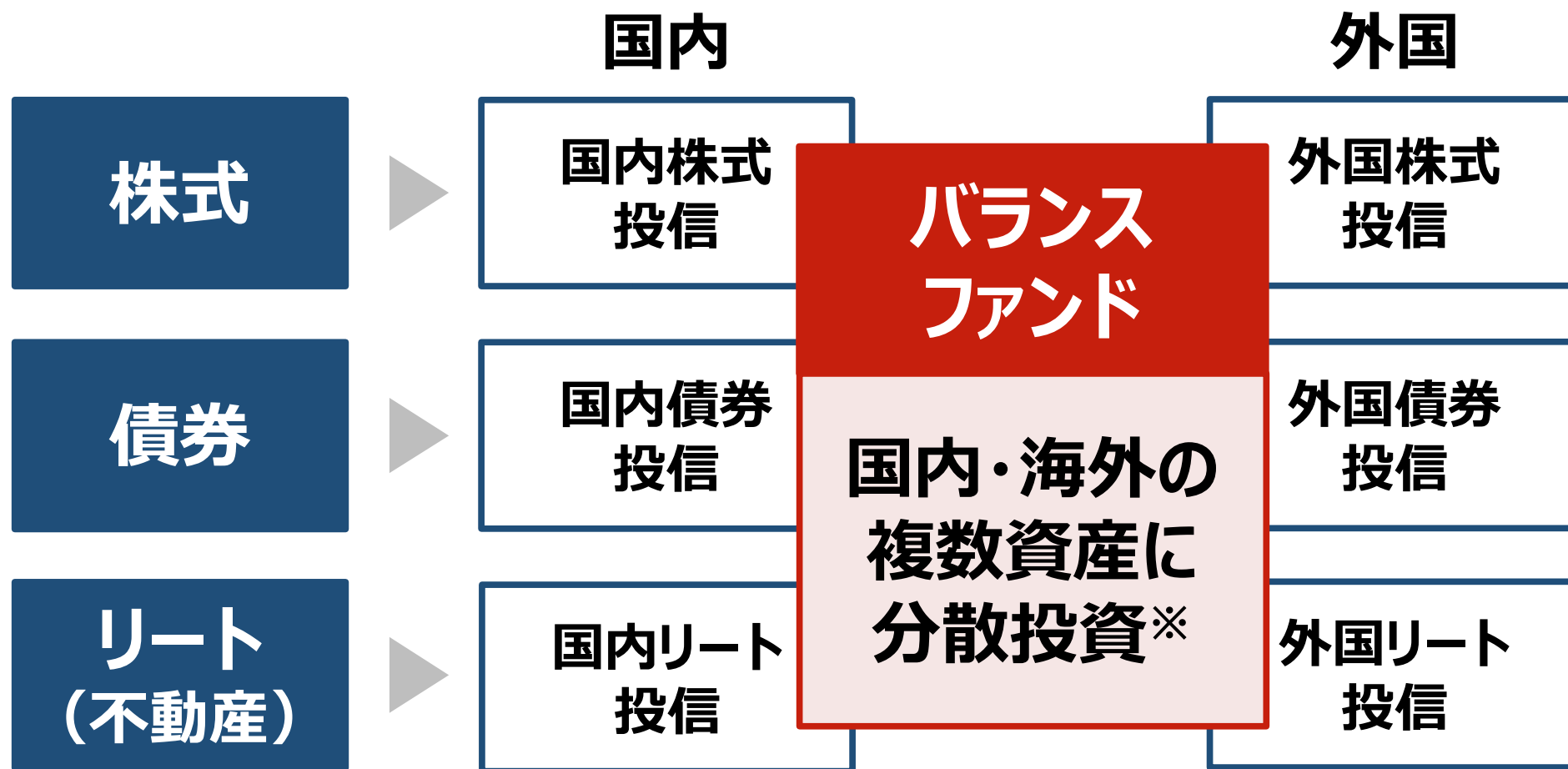
外国株式に投資するアクティブファンド※		
組入上位5銘柄		構成比
1	アップル	4.69%
2	アマゾン・ドットコム	3.82%
3	JPモルガン・チェース	3.10%
4	ロス・ストアーズ	2.80%
5	セールスフォース・ドットコム	2.64%



※ 上記はインデックスファンドとアクティブファンドの違いを説明するための例示であり、投資推奨を目的としたものではありません。

もう1つの投資信託、バランスファンドとは？

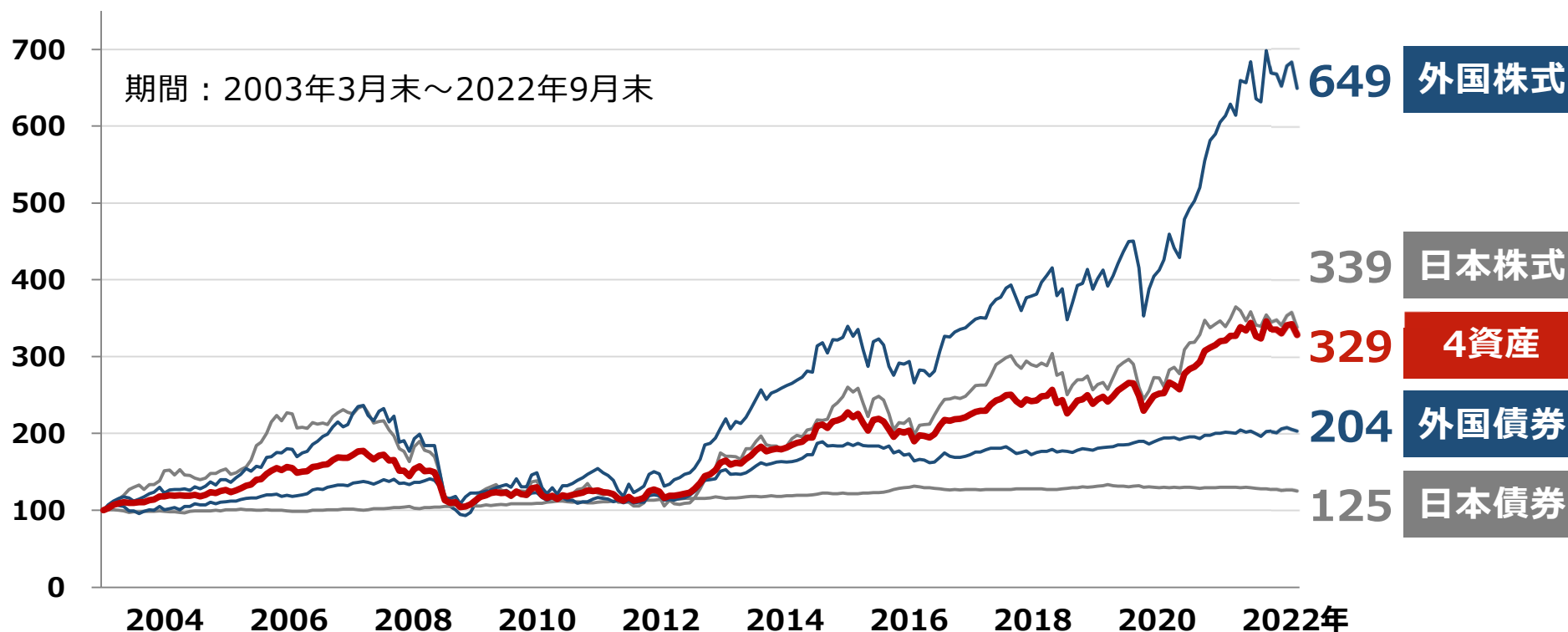
- バランスファンド … **分散（資産分散）** を専門家に任せる投資信託



※ 上記はバランス型投信をご理解いただくための例示であり、その投資先は上記6つの投資対象に限定される訳ではありません。

バランスファンドの値動き

- 2003年4月、外国株式、国内株式、外国債券、国内債券にそれぞれ25ずつ、合計100を投資した場合のシミュレーション結果※



※ 外国株式はMSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）、日本株式はTOPIX（配当込み）、外国債券はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、日本債券はNOMURA-BPIを用いて算出

※ 4資産はリバランスを考慮せず

ここまでで学んだ大事なこと／金融商品

1

預金とは銀行にお金を貸していること

2

債券とは企業の負債を保有すること

3

株式とは企業の資本を保有すること

4

投信とは投資のプロを信じて託すこと

3. お金を守る、リスクとのつきあい方

お金を守る、リスクとの付き合い方

- リスクを怖がり銀行に預けているだけでは、お金はいつまでたっても殖えません。大事なものは、リスクを管理する術を知ることです。
(すべ)

お金について学んでいない人

「リスク＝危険」と考え、
避けるべきものとする

→ 株は「リスクがあるから
やらない」

→ 逆に、「必ず儲かる」
「絶対損しない」という
言葉に飛びつき、お金を
失ってしまいがち



お金について学んだ皆さん

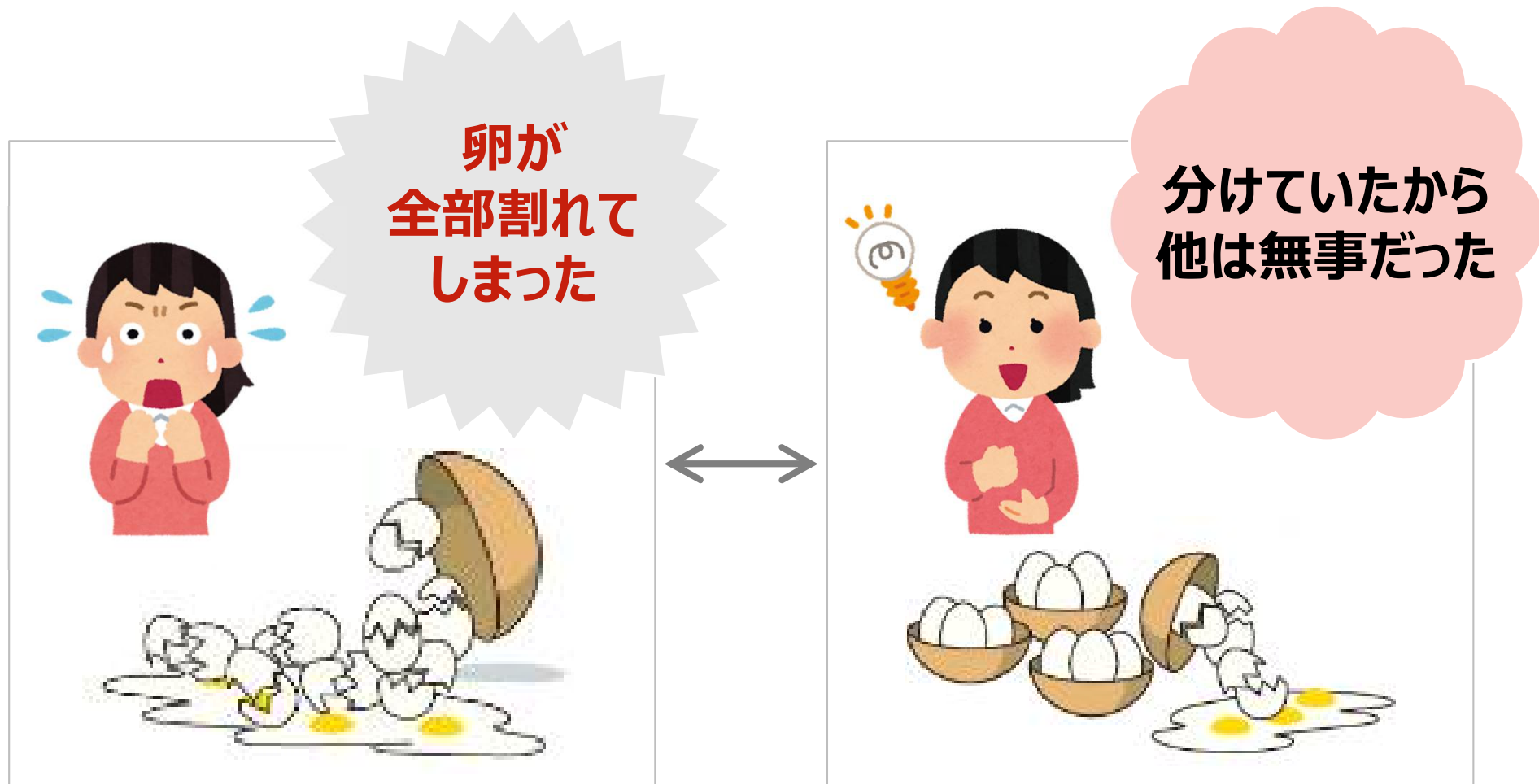
お金の世界では、「**リスク＝
儲けのブレ幅**」、このブレ幅
こそが儲けの可能性、つまり、
リスクとはリターンの源泉

→ リスクは避けるべきもの
ではなく、**管理しながら
上手につきあうもの**



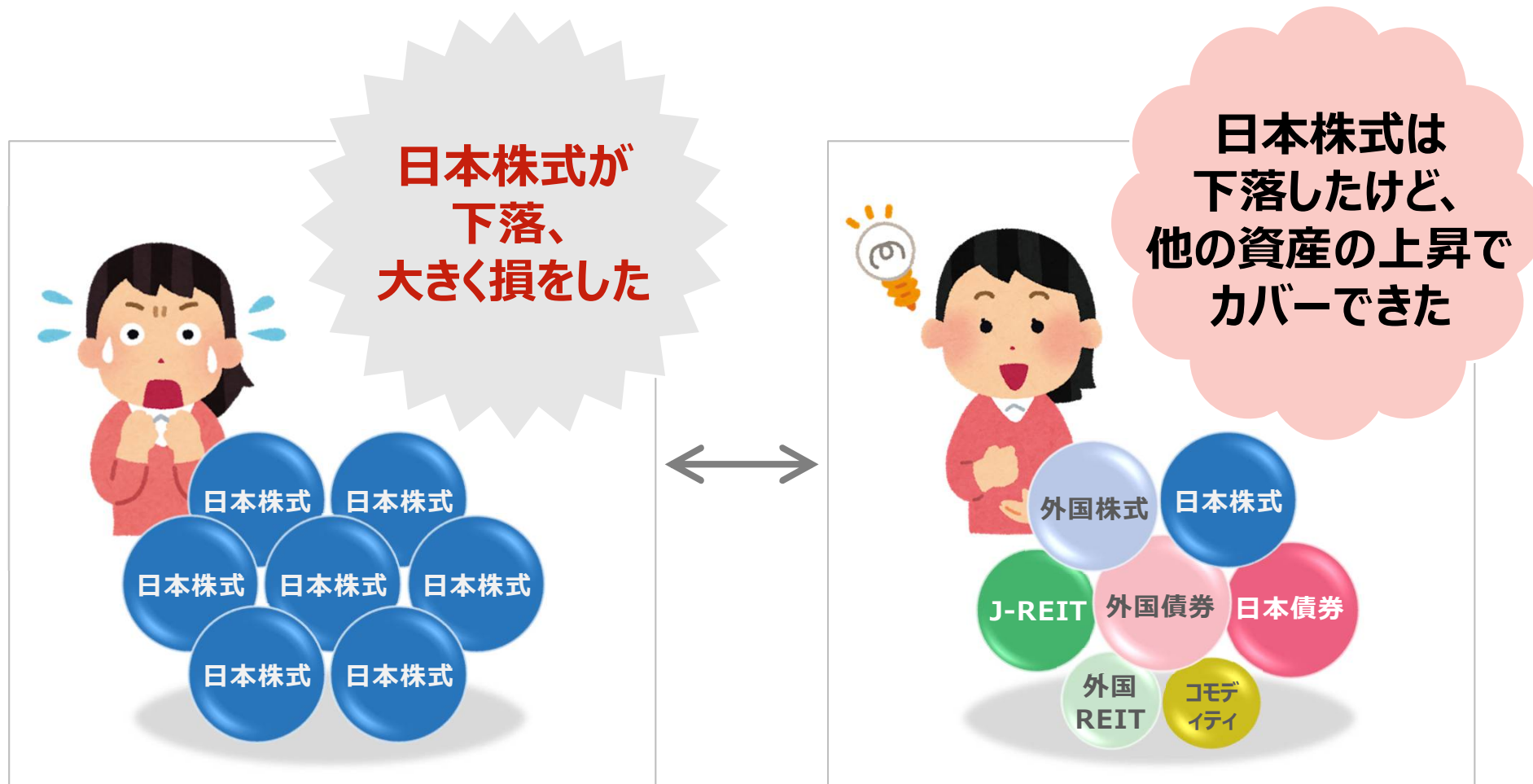
投資の格言／卵は一つの籠に盛るな

- この格言が言うように「分けて管理する」、つまり、「分散」の発想こそが、投資におけるリスク管理の神髄です。



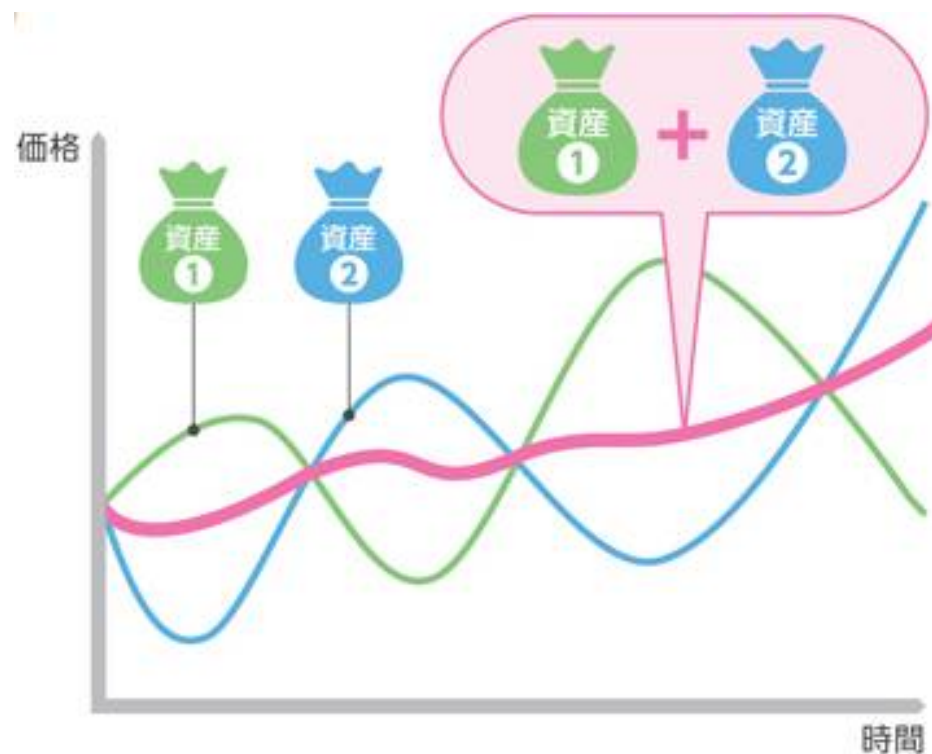
卵の例えを、金融商品で考えると…

- 金融商品なら、同じ株でも複数の銘柄に分ける、というだけでなく、債券やREITに分けたり、外国への投資も組み入れることができる。



分散投資とは？

- 分散投資には、①「資産・銘柄」の分散や②「地域の分散」などのほか、投資する時間（時期）をずらす③「時間（時期）分散」という考え方があります。
- これらを組み合わせることで、ある銘柄や資産が値下がりした場合でも、他の資産や銘柄の値上がりでカバーする、といったように、保有している資産・銘柄の間で生じる価格変動のリスク等を軽減することができます。



出所：（定義）幸田博人／川北英隆[編著]「金融リテラシー入門 基礎編」、
（イメージ図）金融庁「つみたてNISA早わかりガイドブック」

ここまで学んだ大事なこと／分散投資

1

リスクは避けるものではなく、管理するもの

2

リスク管理のキーワードは分散

3

分散投資には ①資産・銘柄の分散、

②地域の分散、③時間の分散がある

分散投資の理論と実際

- 分散という考え方を実際の投資に活かすには？

分散と言っても
たくさんの金融商品に投資する
お金なんてないし…

そもそも、
③**時間の分散**って、
どうすればいいの？

①**資産・銘柄の分散**や
②**地域の分散**って
どうすればいいの？

ところで分散で
リスクが減ったら、
リターンも減るんじゃないの…



分散投資の理論と実際

- これまでに学んだ大事なことも振り返って考えると…

少額からでも投資ができる
投資信託を
使えばいい!



予め決まった金額で
定期的な積立投資を
続けられればいい!

自分でできなくても
プロに分散投資を任せる
バランスファンドがある!



長期投資で
複利の効果を
活かせばいい!

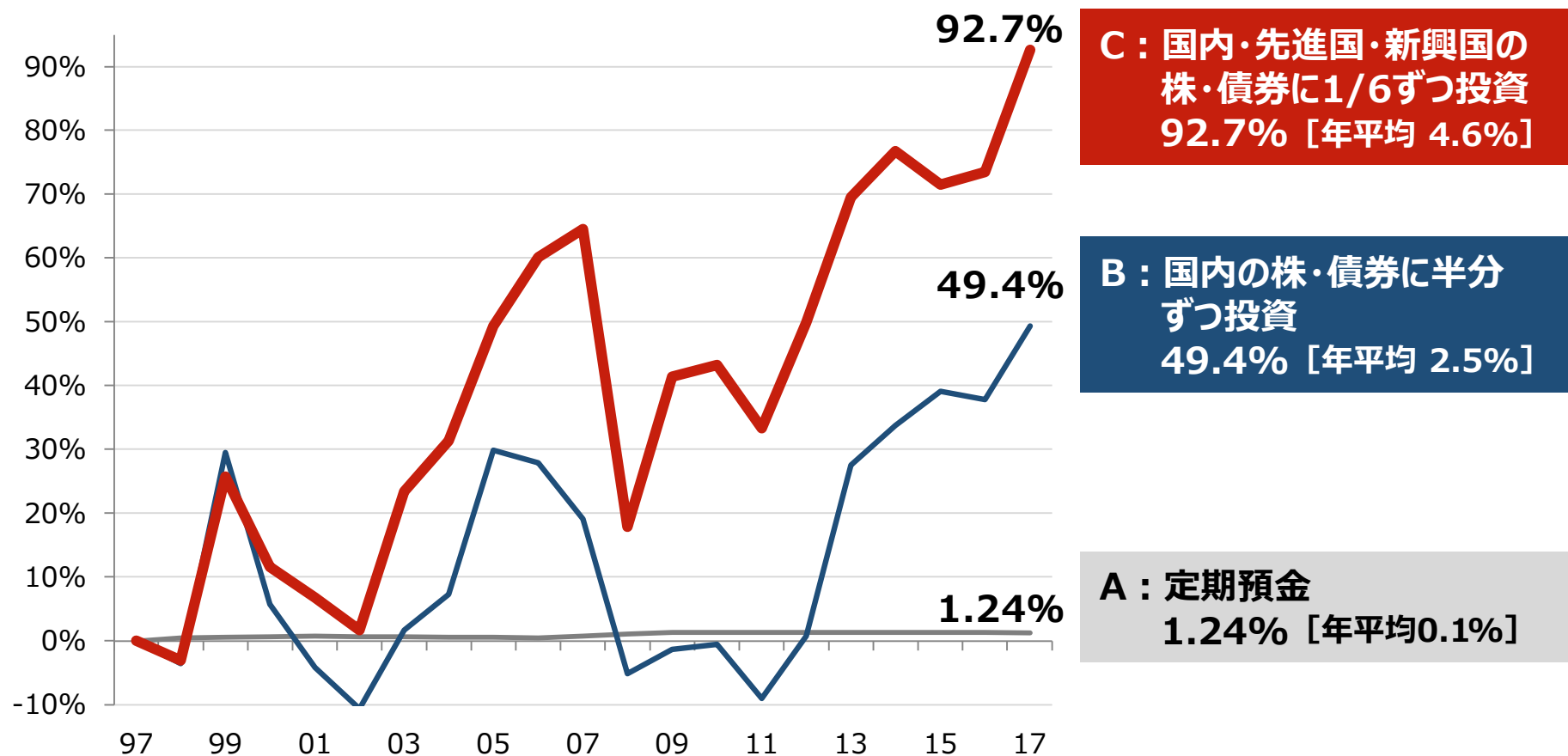
資産形成のコツは長期・積立・分散

● 投資の種類と失敗しないためのコツ

投資の主な類型	ニーズ	特徴・コツ
資産 <u>運用</u> のための投資	<u>今ある</u> 資産を増やしたい	<ul style="list-style-type: none">● 銘柄（投資先）選定● 売買タイミング
資産 <u>保全</u> のための投資	<u>今ある</u> 資産を守りたい	<ul style="list-style-type: none">● インフレヘッジ● 分散投資
資産 <u>形成</u> のための投資	<u>今から</u> 資産を作りたい	<ul style="list-style-type: none">● <u>長期</u>投資● <u>積立</u>投資● <u>分散</u>投資 

長期・積立・分散の効果

● 長期・積立・分散投資の効果（実績）



※ 各計数は、毎年同額を投資した場合の各年末時点での累積リターン。株式は、各国の代表的な株価指数を基に、市場規模等に応じ各国のウェイトをかけたもの。債券は、各国の国債を基に、市場規模等に応じ各国のウェイトをかけたもの。

出所：Bloombergより、金融庁作成

長期・積立・分散を実践するには…

- 長期・積立・分散が誰でも簡単にできる制度

	つみたてNISA	iDeCo
長期	非課税投資が 20年	引出は 60歳 以降
積立	文字通り、“ つみたて ”	原則、 毎月定額積立
分散	資産形成に適した 投資信託	運営管理機関が厳選した 投資信託 、預金等

※ 2022年12月現在、利用可能な「つみたてNISA」及び「iDeCo」の制度内容をもとに作成

制度の概要／つみたてNISAとiDeCo

	つみたてNISA (つみたて型の少額投資非課税制度)	iDeCo (個人型確定拠出年金)			
対象者	1月1日時点の年齢が20歳以上の居住者 (2023年1月1日より「20歳」は「18歳」となります)	国民年金の被保険者			
		自営業者等	専業主婦	会社員※	公務員
拠出限度額 (年間)	40万円	81.6万円	27.6万円	14.4万円～ 27.6万円	14.4万円
非課税期間	20年間	制限なし			
投資可能商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託等	投資信託・保険商品・預貯金など			
払出し制限	なし	原則60歳まで引き出し不可			
税制上の メリット	運用益が非課税	積み立てるとき、掛金が全額所得控除 運用しているとき、運用益が非課税 受け取るとき、控除等の適用あり			

※ 企業年金制度の有無や内容に応じて、iDeCoの拠出限度額が異なります

出所：金融経済教育推進会議「金融リテラシーとライフデザイン～人生、お金、金融知識」をもとに、一部修正（2022年12月現在）

ご参考 / 「ガクトク」をご存じですか？

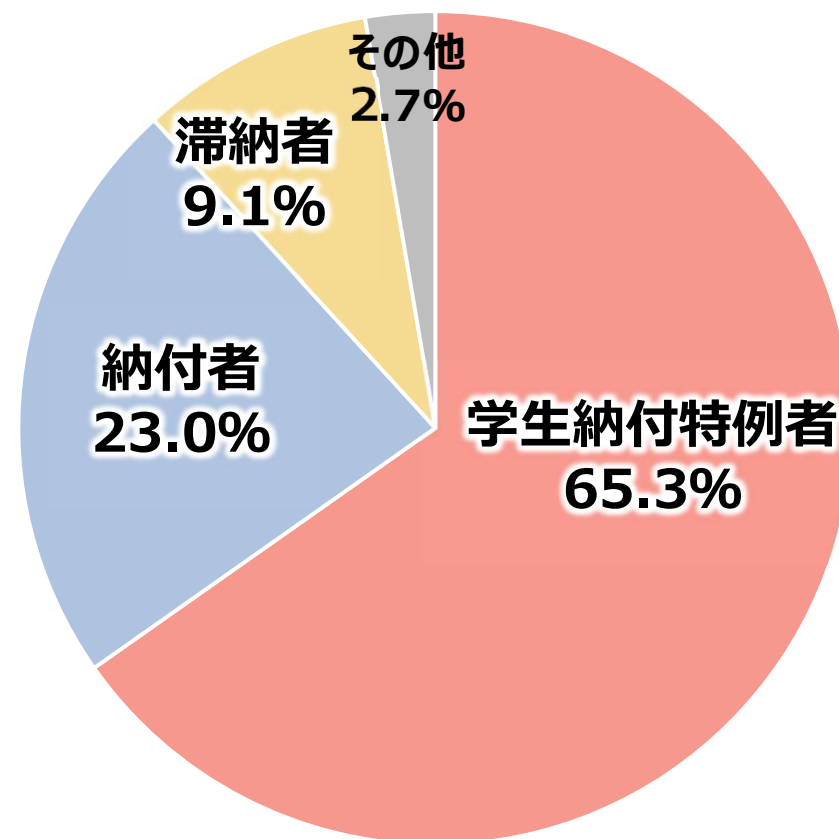
● 学生納付特例制度

- 20歳になると、**国民年金保険料の納付は義務**です。納付しないと、老齢年金をもらえない、あるいは、その分に応じて金額が少なくなります。
- 学生には「**学生納付特例制度**」があります。
- 所得が一定額以下なら、**市区町村役場の国民年金窓口**や**在学中の学校等**に申請して、保険料の納付を猶予してもらえます。

学生納付特例制度のメリット

- 老齢基礎年金を受け取るために必要な期間（受給資格期間）に算入されます。
- 病気やけがで障害が残ったときに障害基礎年金を受け取ることができます。

● 学生の保険料納付状況



出所：厚生労働省「平成29年国民年金被保険者実態調査」

社会人になったら国民年金の追納を!

- 学生納付特例制度は「免除」ではなく、「猶予」です。
- 老齢年金の受給資格期間に算入されますが、納付額がないので年金額には反映されません。
- でも、10年以内に追納すると、将来の年金額に反映されます。
- 国民年金保険料の追納は、20代の老後資金準備の第一歩!



ここまでで学んだ大事なこと／長期・積立・分散

1

資産形成のコツは長期・積立・分散

2

長期・積立・分散を誰でも簡単に

できるのが、つみたてNISA と iDeCo

3

国民年金、ガクトクと追納、忘れずに

大和証券グループの金融経済教育

大和証券グループでは、証券ビジネスを通じて培ってきた金融経済分野の知識やノウハウを活かし、さまざまな世代に対して、金融経済教育を通じて将来を切り拓く力や資産管理スキルを身につけてもらうことを目的とした教育プログラムの提供および支援活動などを行なっています。

◆ 「5分で学べる！お金のクイズ」や各種教材、出張授業等の情報は、下記をご覧ください。

- 大和証券グループ本社ホームページ サステナビリティサイト内
「金融経済教育・研究活動」

>> <https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/stakeholder/financial.html>

こちらのQRコードからでもご覧頂けます。⇒



留意事項

手数料等およびリスクについて

- 当社の取扱商品等へのご投資には、商品ごとに所定の手数料等をご負担いただく場合があります（「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由でお取引いただいた際の国内株式委託手数料は約定代金に対して最大1.26500%（税込）、ただし、最低2,750円（税込）、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された購入時手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等）。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をお読みください。

商号等 : 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、
一般社団法人日本STO協会

留意事項

つみたてNISAに関する留意事項

- つみたてNISAは、すべての金融機関を通じて、同一年において1人1口座に限り開設することができます。（金融機関を変更した場合を除きます）
- NISAとつみたてNISAは選択制であることから、同一年に両方の適用を受けることはできません。NISAとつみたてNISAの変更は、原則として暦年単位となります。
- その年の非課税投資枠の未使用分を、翌年以降に繰越すことはできません。
- つみたてNISAの損益は税務上ないものとされ、他の口座で保有する上場株式等の配当金、売買損益等と損益通算することができません。
- ETFの分配金は、証券会社で受取る場合（株式数比例配分方式を選択されている場合）のみ非課税となります。
- 投資信託の分配金のうち、元本払戻金（特別分配金）はつみたてNISA以外の口座でも非課税であるため、つみたてNISAの非課税メリットを享受できません。
- つみたてNISA以外の口座で保有されている上場株式等をつみたてNISAに移管することはできません。
- つみたてNISAで保有されている上場株式等を、他の金融機関のつみたてNISAに移管することはできません。
- 国外への出国等で非居住者となる場合には、所定の手続きが必要です。
- つみたてNISAで購入できる金額（非課税投資枠）は年間40万円までです。銘柄の入れ替えも、買付金額分、非課税投資枠が消化されます。
- つみたてNISAをご利用いただくにあたり、定期的、継続的に積立投資を行なう積立契約をお申込みいただく必要があります。
- 20年の非課税期間経過後、翌年の非課税投資枠に保有商品を移管（ロールオーバー）することはできません。
- つみたてNISAにかかる積立契約により買付けいただいた投資信託の運用管理費用（信託報酬）等の内容については、原則として年1回、お客さまへ通知いたします。
- つみたてNISAに累積投資勘定を設けた日から10年経過した日、および同日の翌日以後5年を経過した日（以下基準経過日）ごとに、つみたてNISAを開設いただいたお客さまのお名前・ご住所を確認させていただきます。なお、基準経過日から1年以内に確認ができない場合、つみたてNISAへの上場株式等の受入が出来なくなります。

※ 今後、法令・制度等が変更された場合、記載内容が変更となる可能性があります。（2022年12月現在）

PASSION
FOR THE
BEST